

施策2 心の出会いを大切にする図書館の創造

市民生活に必要な資料や情報の提供に努めることはもとより、「市民自らの学び」を支援し、誰もが心の出会いを大切にし、豊かさを実感できる図書館を創造していきます。

詳細施策2-1 新図書館（中央館）の建設

～自ら学ぶことへの支援と地域社会に貢献する情報センターの実現～

●現在の状況は

現在の図書館（中央館）の老朽化に伴い、2011年度（平成23年度）のオープンを目指して、新図書館建設に取り組んでいます。

新図書館は、城址地区内に医療保健センター（仮称）との複合施設として整備を進めています。

●これからの取り組みは

1 「あらゆる市民に配慮した図書館」

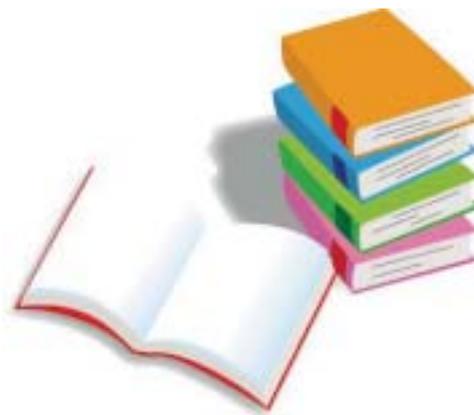
幅広い年齢層の市民や来館が困難な市民に配慮した図書館として、ゆとりと落ち着きのある空間を提供し、高度情報化社会の進展への対応と将来も継続して市民に利用され続ける図書館をめざします。

2 「市の図書館サービスの中核としての図書館」

合併により広域化した高崎市の資料・情報ネットワークの中核拠点として機能し、情報発信と利用提供のサービスに努める図書館をめざします。

3 「個性のある図書館」

高崎市の貴重な情報資源である地域・行政資料の収集・保存・提供サービスや、全国でも有数の視聴覚資料を活用したサービスの充実、さらに図書館サービス網の情報拠点として中央館機能を高め、利便性の向上をめざします。



詳細施策2-2

中央館と地域館とのネットワークの構築

～ネットワークの整備による利用者サービス支援～

●現在の状況は

市町村合併により、高崎市の図書館は中央館と地域館4館の計5館となり、図書館情報総合システムの統合によるネットワーク整備を進めています。

今後、さらに利便性を向上させるとともに、適正な規模の地域館整備を進めることが求められています。

●これからの取り組みは

1 ネットワーク整備やIT化による図書館資料の利活用の促進

図書館総合情報システムの統合により、図書館資料の情報共有が進んだ結果、インターネット上からの資料検索や貸出予約なども可能になりました。今後も引き続き、情報の提供や発信の充実に努めます。

2 5つの図書館間を結ぶ物流のネットワーク化の推進

資料の貸出・返却がどの図書館でも速やかに行なえるよう、引き続き物流のネットワーク化を推進します。

3 適正規模の地域館整備

新しい新町図書館がより広がって2008年(平成20年)にオープンしました。今後、榛名地域の新しい図書館建設を推進するなど、地域館整備に努めます。



新しくオープンした新町図書館

詳細施策2-3 図書資料や視聴覚資料の充実

～図書資料やビデオ、CD、さらに電子資料までの幅広い資料の収集～

●現在の状況は

高崎市に関する郷土・行政資料を充実させることはもとより、その形態にとらわれず時代を反映するさまざまな資料の充実が求められています。

●これからの取り組みは

1 情報資源としての図書資料の充実

読書は子どもたちにとって心の成長を促し、大人にとっても仕事や研究、またレクリエーションとしての身近な手段です。その資源となる図書資料の充実を図ります。

また、市の文化と伝統の蓄積である郷土・行政資料の収集を積極的に行います。

2 進展する情報メディアに対応した視聴覚資料の充実

全国でも有数の視聴覚資料をはじめ、さまざまな形態の新たなメディア資料も市民の重要な情報源として、その充実に努めます。

詳細施策2-4 関係諸機関との連携

～公民館図書室などへの支援と各機関との事業連携～

●現在の状況は

公民館図書室や学校図書室は身近な読書施設として大切な役割を果たし、また、乳児期における読書への「ブックスタート事業[※]」など、各機関で様々な試みがなされています。

市立図書館においては、それらを支援することにより資料の有効活用を図ることが求められています。

●これからの取り組みは

1 公民館図書室との連携

図書館は、これまで倉賀野公民館や倉渕公民館の図書室と連携を図ってきましたが、インターネットの普及により、図書館の資料検索はどこでも可能となりました。今後は、全市域を対象にさらに連携を強化していきます。

2 幼稚園や学校図書室との連携

子どもたちにとって身近な読書施設である学校図書室と公立図書館との相互利用や情報共有が求められている現状から、図書館は小・中学校を中心に学校教育関係機関との連携を深めていきます。

3 他の機関が実施する読書推進活動への支援

「ブックスタート事業」など各機関で実施する読書推進事業活動について、図書館はその求めに応じて支援していきます。

詳細施策2-5

近隣自治体の図書館との連携

～前橋市立図書館や高崎を中心とした都市圏の図書館との連携～

●現在の状況は

1998年(平成10年)から前橋市立図書館、また2000年(平成12年)から高崎都市圏の図書館との間で協力関係が図られ、それぞれの図書館を直接利用することができます。

市町村合併に伴い、その枠組みは変化しましたが、今後も継続して連携を図っていくことが求められています。

●これからの取り組みは

1 近隣自治体の図書館との連携・強化

現在、前橋市や高崎都市圏の公立図書館の間では資料の直接利用が可能になっています。

図書館は、その連携をさらに進めて、利用した資料を最寄りの図書館に返却できるように働きかけていきます。

また、引き続き互いの図書館運営についての情報交換も積極的に推進していきます。

